



国際センター通信 (No.6)

新年あいさつ～土木学会会長 小野武彦～

◆ 日本の土木技術者の未来に期待すること

年始に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

国際市場において日本の産業界は、最近の政治・経済状況の影響を受け、以前と比較して行き詰った状況にあります。土木界においても建設工事費はピーク時（1992年）から半減しています。

3.11の東日本大震災以降も、我々の生命を脅かし、時には広範囲にわたって経済活動が一次的にストップするような豪雨や台風、竜巻といった自然災害に見舞われています。我々土木技術者はこの様な自然災害に負けない国づくりを国民の皆様から期待されているのです。

タイでの大洪水や各国で地震が発生していることから、その国の継続性や国際競争力を確保するためには社会基盤がいかに重要か、という事は世界の共通認識であると思います。長年にわたって蓄積してきた社会基盤整備に関する知恵や技術力を持って世界に貢献してきた事で信頼を勝ち得ています。まだまだ多くの国で社会基盤整備を行うための調査・計画、調達、施工に関するサポートが必要とされています。今の状況は我々日本の土木技術者にとって、いいチャンスではないでしょうか。

今まで多くの技術者が海外で仕事をしていますが、必ずしも海外特有のリスクを乗り越えることができているわけではありません。これらのリスクを乗り越えて企業が発展していくためには人的ネットワークの再構築と海外での今までの経験を踏まえた若手技術者の教育が必要ではないでしょうか。今が海外へのインフラ輸出を実行するチャンスととらえ、積極的に官学産が連携していこうではありませんか。



◆ 【報告 1】台湾水利工程学会 2012 年次大会（11/15&16, 台中、朝陽科技大学、）

2012年11月15,16日の2日間にわたり、台中 朝陽科技技術大学で開催された台湾水利工程学会（CICHE: Chinese Institute of Civil and Hydraulic Engineering）の年次大会に山本卓郎前会長、大内雅博教授（高知工科大学、台湾 G 担当）を代表とする JSCE 代表団を派遣しました。JSCE の他に、大韓土木学会（KSCE）、モンゴル土木学会（MACE）が参加しました。

ラウンドテーブルミーティングでは、“Disaster Management and Railway Safety”のテーマの下、上記4学会の鉄道の専門家5名による講演が行われ、災害時の鉄道の安全の確保について活発に意見が交換されました。

また、CICHE Prof. Shi-Shuenn Chen 会長、Prof. Luh-Maan Chang 国際委員長をはじめとする CICHE 上層部とミーティングを持ち、今後の交流活動に



ついて検討しました。両学会は、今後、其々の年次大会等の機会をとらえて、年1回程度、継続的かつ定期的に両学会上層部による会合を開催することに同意しました。

詳細につきましては、国際センターHPに掲載しておりますのでご覧ください。

(http://committees.jsce.or.jp/s_iad/node/41)

◆【報告 2】フィリピン土木学会 第38回年次大会（11/22～24、フィリピン・セブ島）

2012年11月22～24日、セブ島、セブ国際会議場で開催されたフィリピン土木学会(PICE: The Philippines Institute of Civil Engineers, Inc.)の年次大会に石井弓夫元会長、佐々木邦明教授（山梨大学・フィリピンG担当）とIACスタッフを派遣しました。PICEの海外AOC学会からは、JSCEが唯一の参加学会でした。5000人以上の参加者がPICE国内外101のセクションから集まり、情報や意見の交換を行いました。特別講演では、PICEの元会長 Dr. Primitivo Cal、フィリピン会計監査院の Ms. Aida Maria A. Talavera、そして石井元会長の3名が講演者としてスピーチを行いました。石井元会長は、“Indirect Damages and Evaluation of Investment for Integrated Disaster Risk Management”と題した講演を行いました。この年次大会のハイライトのひとつであるPICEの会長・理事選挙が行われ、現会長である Romeo S. Momo氏が再選されました。詳細につきましては、国際センターHPに掲載しておりますのでご覧ください。

(http://committees.jsce.or.jp/s_iad/node/41)



Dr. Ishii is given an appreciation plaque



PICE Board of Directors

◆【報告 3】VIBRA-MOT 国際会議 ”Developing Bridge and Road Technologies in Viet Nam（12/14、ベトナム・ハノイ）

12月14日(金)、ベトナム・ハノイ市に在るホーチミン美術館にて、ベトナム運輸省（Ministry of Transport: MOT）とベトナム橋梁・道路技術協会（Vietnam Bridge and Road Association: VIBRA）主催による国際会議「発展するベトナムにおける橋梁・道路技術」が開催されました。日本からは、森知茂教授（第92代JSCE会長、政策研究大学院大学）、菊川茂技監（国交省）、上田多門教授（土木学会国際部門主査理事兼国際センター長）率いるJSCE代表団が参加をしました。日本の高速道路や高速鉄道技術について講演をし、ベトナムの鉄道や道路の技術者と活発な意見交換をしました。今後も引き続き、ベトナムと日本の技術者間の交流を深めてまいります。

詳細につきましては、国際センターHPに掲載しておりますのでご覧ください。

(http://committees.jsce.or.jp/s_iad/node/41)



講演中の森地教授



シンポジウム開催状況

お知らせ

- ◆ ACECC 6th CECAR @インドネシア・ジャカルタ（2013年8月20-22日）開催されます。
<http://committees.jsce.or.jp/acecc/6thcecar>
- ◆ コンクリート委員会 ニュースレター No. 31 が発行されました。
<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/newsletter31/index>.

御協力をお願い

国際センターでは、国際活動に関する“情報発信の強化”を目標に掲げ「国際センター通信」を配信しておりますが、更に配信先を拡大し、皆さまと情報を共有していきたいと考えています。

つきましては、皆さまより周囲の方々へ国際センター通信をご紹介いただき、国際センター通信の定期的配信を希望される方には、次の登録フォームよりご登録いただくよう御案内いただけませんか。何卒、御協力のほどよろしく願いいたします。

「国際センター通信配信希望者 登録フォーム」

- 日本語版：<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>
- 英語版：http://committees.jsce.or.jp/s_iad/iac_news_registration
- 英語版（日本の大学等への留学経験をお持ちの方）：<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/30>

【ご意見・ご質問】：JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

本通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。